森の石松（1949）

メディア 映画
ジャンル 時代劇　任侠・ヤクザ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 97分
初公開日 1949/06/04
公開情報 松竹

【解説】
　ご存じ森の石松を主役に据えた任侠もの。新藤兼人の脚本を、時代劇初挑戦の吉村公三郎が監督した。派手なチャンバラを描くのではなく、実直でドジな石松の姿をとらえているのが特徴。
　稼いだ僅かばかりの金をバクチですってしまい、ほとほと百姓がいやになった石松は、侠客になるべく清水次郎長の子分になった。しかし毎日毎日、させてもらえるのは荷役の仕事ばかり。いやになって逃げだそうとしたところをつかまり、海にたたき込まれてしまう始末。出入りではやくざの半七を助けようとして、片目を失ってしまった。やがて頭角を現した石松は、子供の手まり歌に登場するほど有名に。しかし親分の代わりに船問屋から集金した金を使い込んでしまい…。

【クレジット】
監督 吉村公三郎
製作 糸屋寿雄
脚本 新藤兼人
撮影 生方敏夫
美術 水谷浩
音楽 伊藤宣二
出演 藤田進　石松
殿山泰司　吾作
轟夕起子　お藤
朝霧鏡子　お新
飯田蝶子　トヨ
笠智衆　ヒゲ又
三井弘次　オイランの半七
安部徹　ノミコミの忠太
志村喬　島千鳥八兵衛
河村黎吉　江戸っ子
永田光男　勤王
山路義人　新選組
角田富江　港屋の女Ａ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.